

人文学研究のデジタル化と オープン化

Toward digital and open humanities research

北本 朝展 (KITAMOTO Asanobu)

情報・システム研究機構 データサイエンス共同利用
基盤施設 人文学オープンデータ共同利用センター

国立情報学研究所 コンテンツ科学研究系

<http://codh.rois.ac.jp/>

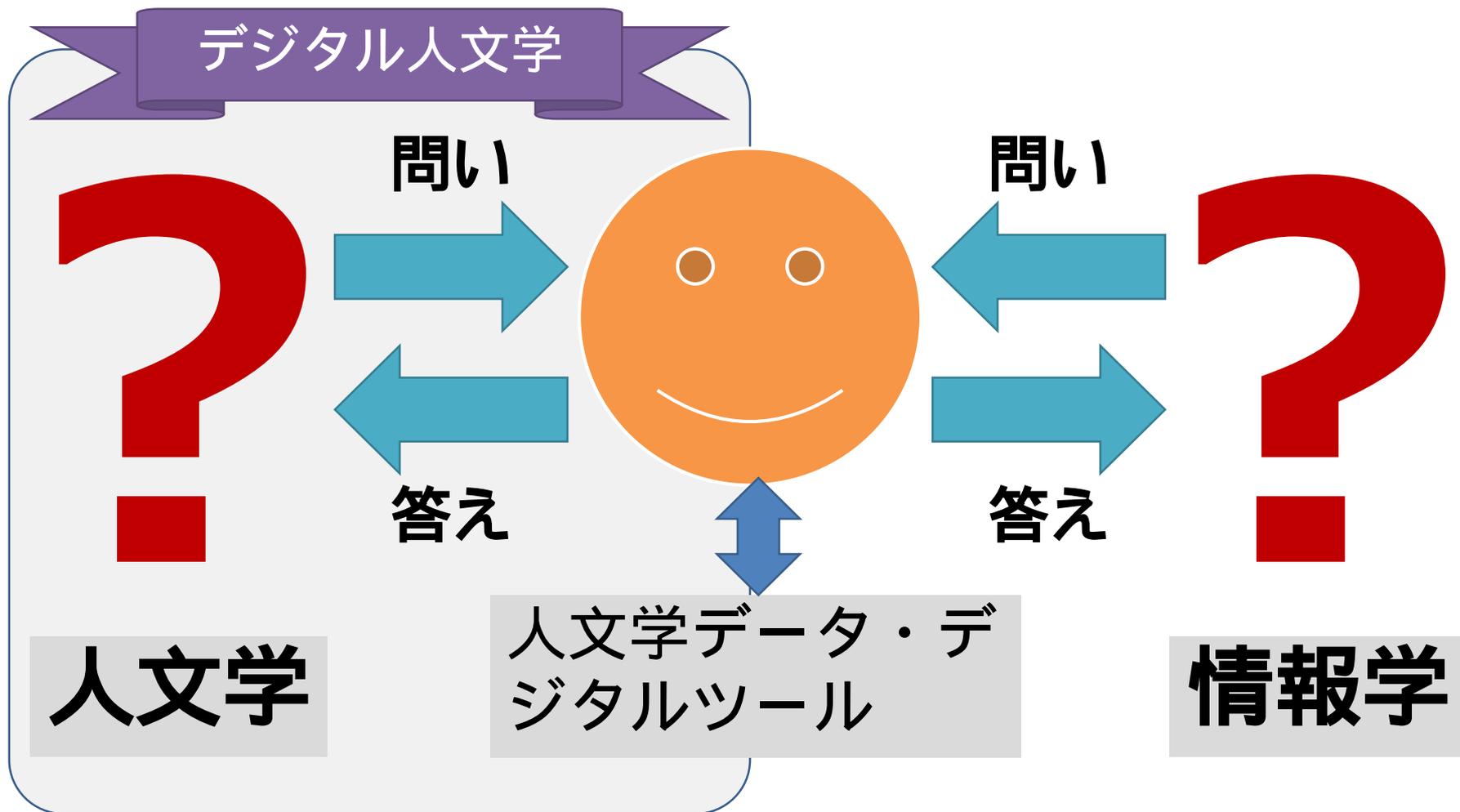


人文学オープンデータ 共同利用センター

CODH <http://codh.rois.ac.jp/>

- 情報・システム研究機構 データサイエンス共同利用基盤施設内に、2017年4月1日に正式に発足。センター長：北本朝展。
 1. **情報学・統計学の技術を用いて、人文学の研究を革新する。**
 2. 人文学のデータを用いて、情報学・統計学の研究を革新する。

学際領域と同床異夢



オープンサイエンスの要素

透明性

オープンアクセス

共有

オープンピアレビュー

オープンデータ

研究の再現性・
透明性・研究
データ保存

研究データ
データ出版
データリポジトリ

オープン
サイ
エンス

市民科学・クラウ
ドファンディング

コラボレーション・オー
プンイノベーション

超学際研究

参加

協働

メタ研究 = 研究（システム）に関する研究

デジタル化とオープン化

- **人文学の研究方法が大きく変わりつつある。**
 - 以前：紙の資料を個人（少人数研究グループ）が長い時間をかけて読む。
 - 現在：デジタル化された資料を共有・公開して多人数で並行して読む。
- この変化により、**成果公開、キャリアパス、教育、研究資金、社会貢献**などが、これから様変わりしていく可能性がある。
- この影響は世代によって異なる。**世代間の意識の差が拡大**しつつある点にも注意すべき。

セッション前半

1. 人文学の検証可能性

山本 和明（国文学研究資料館）

2. 市民科学（シチズンサイエンス）

橋本 雄太（国立歴史民俗博物館）

3. コミュニティのオープン化

小風 尚樹（東京大学大学院 人文社会系研究科
西洋史学専門分野 博士課程）